

平成28年度行政事業レビューシート ( 内閣官房 )

<b>事業名</b>	水循環推進経費			<b>担当部局庁</b>	内閣官房副長官補			<b>作成責任者</b>	
<b>事業開始年度</b>	平成27年度	<b>事業終了(予定)年度</b>	終了予定なし	<b>担当課室</b>	水循環政策本部事務局			内閣参事官 岡積 敏雄	
<b>会計区分</b>	一般会計								
<b>根拠法令</b> (具体的な条項も記載)	水循環基本法			<b>関係する計画、通知等</b>	「水循環基本計画」(平成27年7月10日閣議決定)				
<b>主要政策・施策</b>	-			<b>主要経費</b>	その他の事項経費				
<b>事業の目的</b> (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	水循環に関する施策を総合的かつ一体的に推進し、もって健全な水循環を維持又は回復させ、我が国の経済社会の健全な発展及び国民生活の安定向上に寄与することを目的とする。								
<b>事業概要</b> (5行程度以内。別添可)	①「水循環基本法」に基づく、水循環基本計画(平成27年夏までのできる限り早い時期までに閣議決定予定。)の施策を推進するにあたり、効率的・効果的な連携・役割分担、具体的な推進方策、課題等を検討するための経費。 ②「水の日」にふさわしい事業を実施するための経費。								
<b>実施方法</b>	委託・請負								
<b>予算額・執行額</b> (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度要求		
		補正予算	-	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
		計	0	0	40	40	291		
	執行額	0	0	37					
	執行率(%)	-	-	93%					
<b>成果目標及び成果実績</b> (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標年度	目標最終年度
			成果実績	-	-	-	-	-	-
			目標値	-	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	-	-
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載							<input type="checkbox"/> チェック		
<b>定量的な成果目標の設定が困難な場合</b>	定量的な目標が設定できない理由			定性的な成果目標と25～27年度の達成状況・実績					
	定量的な目標が設定できない理由及び定性的な成果目標 計画策定のための経費、計画の推進に向けた課題等を検討するための経費であり、定量的な目標及び成果実績を定めることは、現時点では困難である。			【成果目標】 ・基本計画の施策推進にあたっての課題が適切に検討、解決される。 【達成状況・実績】 ・平成27年度水循環施策第2部において施策の推進状況について報告した。 ・「流域水循環計画策定の手引き」および「水循環に関する計画事例集」を作成しウェブサイトにて公表した。 ・「水の日」関連業務を実施し、水循環に関する普及啓発に努めた。					
<b>事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績</b>	代替目標	代替指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標28年度	目標最終年度
	様々な水循環施策を総合的、計画的に推進するための調査等を実施する。	水循環基本計画等に掲げられた各施策に資することが可能となる。	実績	件	-	-	1	-	-
			目標値	件	-	-	1	1	-
			達成度	%	-	-	100	-	-

活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	・検討及び調査の実施件数								活動実績	件
				当初見込み	件	-	-	1	1	
単位当たりコスト	算出根拠			単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	検討及び調査に必要な経費／検討及び調査の実施件数								単位当たりコスト	百万円
				計算式	百万円/件	-	-	37百万円/1件	37百万円/1件	
平成28・29年度予算内訳 (単位：百万円)	歳出予算目		28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由					
	諸謝金		0.7	9.1	・「新しい日本のための優先課題推進枠」255百万円 ・流域水循環計画の策定・推進を支援する取組を検討するための経費の増額。					
	職員旅費		1.8	20						
	委員等旅費		1.1	9.5						
	庁費		36.6	252.4						
	計		40.2	291						
政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策									
	施策									
	測定指標	定量的指標			単位	25年度	26年度	27年度	中間目標	目標年度
					実績値					
					目標値					
	定性的指標			目標	施策の進捗状況(目標)					
				目標年度						
					施策の進捗状況(実績)					
本事業の成果と上位施策・測定指標との関係										
改革項目	分野:									
	(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時	27年度	28年度	中間目標	目標最終年度	
			年度					年度	年度	
		成果実績								
		目標値								
		達成度	%							
(第二階層) KPI	KPI (第二階層)		単位	計画開始時	27年度	28年度	中間目標	目標最終年度		
							年度		年度	年度
			成果実績							
			目標値							
		達成度	%							
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係										

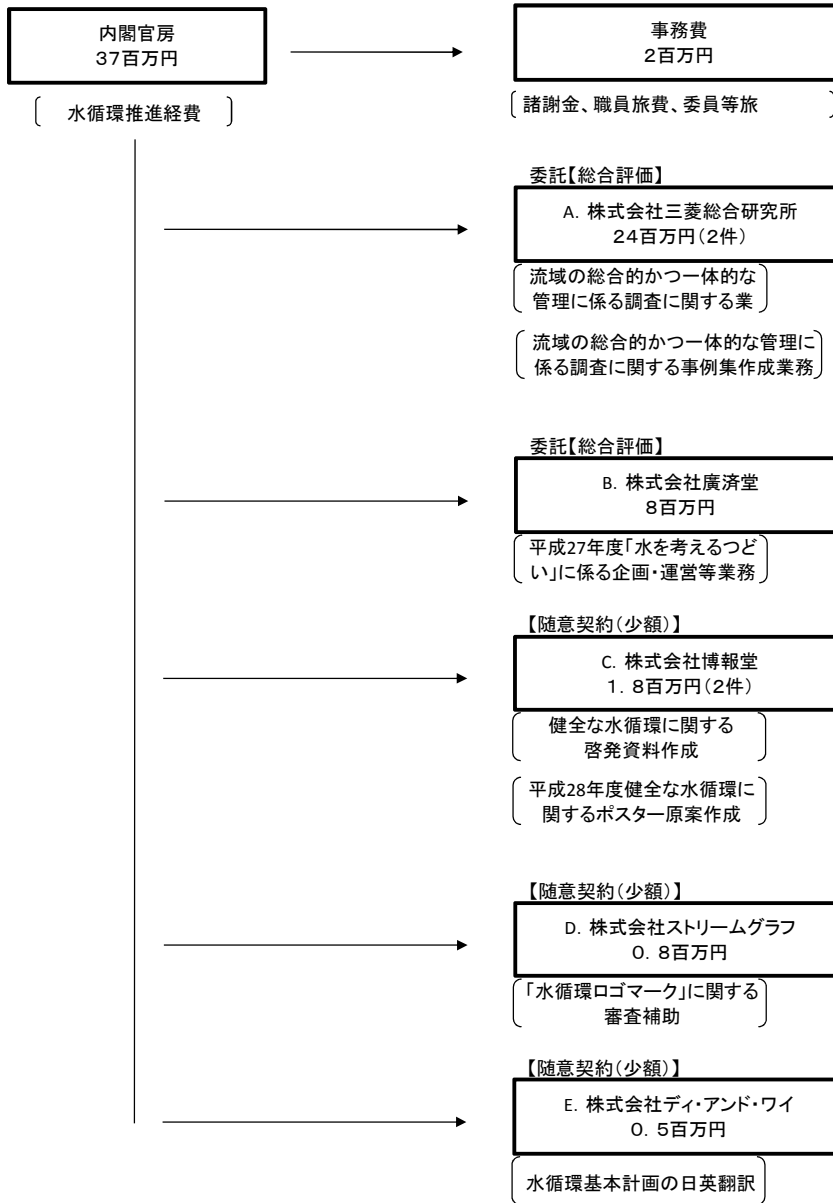
事業所管部局による点検・改善				
		項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	水循環基本法に基づく、水循環基本計画により、地方公共団体が行う流域水循環計画などの施策を国が後押しする必要がある。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	国が主体となって地方公共団体を支援する必要がある。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	水循環基本計画に基づく施策を推進するため、政府体系の中でも優先度は高い。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	総合評価入札により競争性を確保している。 なお、公告期間を長めに設ける等を行ったが、結果的に一者応募となった。
	一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応募又は一者応募となったものはないか。		有	
	競争性のない随意契約となったものはないか。		無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	支出先の選定が妥当であり、費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されていることから、コスト等の水準は妥当である。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	総合的、計画的に推進するための調査等を実施することにより、流域マネジメントの普及させる事が可能となり、費目・用途は必要不可欠なものである。
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-		
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。		-		
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。		○	流域マネジメントの普及に寄与している。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	事業実施毎に、より効果的で低コストとなる手段・方法等を検討している。
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	「流域水循環計画策定の手引き」および「水循環に関する計画事例集」を作成しウェブサイトにて公表するなど見合ったものとなっている。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	記者発表を行った上で、ウェブサイトに掲載し情報提供を行っている。
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	
	所管府省・部局名	事業番号	事業名	
点検・改善結果	点検結果	国費投入の必要性、事業の効率性及び事業の有効性のいずれの観点からも、効果的・効率的に実施されている。		
	改善の方向性	事業の実施にあたっては、水循環政策本部事務局会議を基本的に毎週開催し、効率的な実施方法およびコスト削減に努めている。		
<b>外部有識者の所見</b>				
点検対象外				
<b>行政事業レビュー推進チームの所見</b>				
現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、契約における競争性の確保などにより、予算の効率的執行に留意すること。			
<b>所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況</b>				
現状通り	ご指摘を踏まえて、事業を適切に進捗管理しつつ、効果的な予算の執行を図る。			
<b>備考</b>				

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-		
平成25年度	-	平成26年度	-	平成27年度	新27-0002		

※平成27年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位: 百万円)



費目・使途 （「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額 が支出されている 者について記載 する。費目と使途 の双方で実情が 分かるように記 載）	A.株式会社三菱総合研究所			B.株式会社廣済堂		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	役員費	流域の総合的かつ一体的な管理に係る調査に関する業務	18	役員費	平成27年度「水を考えるつどい」に係る企画・運営等業務	8
役員費	流域の総合的かつ一体的な管理に係る調査に関する事例集作成業務	6				
計		24	計		8	
費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載						<input type="checkbox"/> チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社三菱総合研究所	6010001030403	流域の総合的かつ一体的な管理に係る調査に関する業務	18	総合評価入札	1	64.9%	
2	株式会社三菱総合研究所	6010001030403	流域の総合的かつ一体的な管理に係る調査に関する事例集作成業務	6	総合評価入札	1	86.5%	

B.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社廣済堂	7010401009665	平成27年度「水を考えるつどい」に係る企画・運営等業務	8	総合評価入札	2	-	

C.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社博報堂	8010401024011	健全な水循環に関する啓発資料作成	0.9	随意契約(少額)	-	-	
2	株式会社博報堂	8010401024011	平成28年度健全な水循環に関するポスター原案作成	0.9	随意契約(少額)	-	-	

D.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社ストリームグラフ	2021001046185	「水循環ロゴマーク」に関する審査補助	0.8	随意契約(少額)	-	-	

E.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社ディ・アンド・ワイ	2010001005020	水循環基本計画の英訳翻訳	0.5	随意契約(少額)	-	-	

支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載						<input type="checkbox"/> チェック
--	--	--	--	--	--	-------------------------------